古河機械金属グループ

報道関係各位

＜ニュースリリース＞

2026 年 4 月 8 日
古河機械金属株式会社

世界三大建機展「CONEXPO-CON/AGG 2026」に出展

～ロックドリル・ユニック製品を展示し、両ブース合計でおよそ 2,000 人が来場～

当社（本社：東京都千代田区、社長：中戸川 稔）グループの中核事業会社で、ロックドリル部門を担う古河ロックドリル株式会社（東京都千代田区、社長：山口 正己）およびユニック部門を担う古河ユニック株式会社（本社：東京都千代田区、社長：菅野 悌二）は、この度、アメリカのラスベガスにて開催された国際的な建設機械展示会の「CONEXPO-CON/AGG 2026」に海外販売会社を通じて出展しました。

ロックドリル製品ブース

【展示製品】
油圧ブレーカ 13 機種（うち『FHB』シリーズ 6 機種）、油圧クローラドリル『HCR L110-E5』、ダウンザホールドリル『DCR L130-F5』

ブースの様子

【展示会の様子】
屋内ブースに出展し、期間中におよそ 1,200 人が来場されました。
特に注目されたのは、新製品『FHB』シリーズに搭載された新機能 QUICK SWITCH VALVE（QSV）※1 および SMART STROKE SYSTEM（SSS）※2 です。機能の特長や操作性について、具体的な質問が相次ぎ、技術面への理解と期待の高さがうかがえる場となりました。

〈問い合わせ先〉 ・ニュースリリースに関して 古河機械金属株式会社 経営企画部広報・IR 課 TEL：03-6636-9501
・展示会に関して 古河ロックドリル株式会社 営業企画部 TEL：03-6636-9522
古河ユニック株式会社 営業企画部営業企画課 TEL：03-6636-9524

古河機械金属グループ

※1　QUICK SWITCH VALVE（QSV）
QSV は、打撃ストロークを簡単に切り替えられる新方式です。従来はスクリュウ式ストロークアジャスタを複数回転させて調整していましたが、工具をブラケットに挿入し、バルブを 90°回転させるだけで、ショートストローク、ロングストローク、空打ち防止モードの 3 モードへ切り替えが可能です。（特許出願中）
※2　SMART STROKE SYSTEM（SSS）※オプション設定
SSS は、破砕物の硬さを検知し、打撃ピストンのストロークを自動で最適化する制御方式です。常に最適な打撃力を維持することで作業効率を向上させると共に、空打ちによる油圧ブレーカ本体へのダメージを軽減します。（特許出願中）

※参考リリース
ロックドリル部門：油圧ブレーカのフルモデルチェンジ機を開発・販売開始　～『FHB』シリーズとして破砕性能と使いやすさに優れた 4 つのスタイルをラインナップ～
https://www.furukawakk.co.jp/info/2025/20251218__fhb4.html

　また、油圧クローラドリル、ダウンザホールドリルの両製品についても、既存のお客様からの新たな商談や、他社製品を利用中のお客様からも興味をお寄せいただき、製品を具体的に検討する動きが多く見られました。
　古河ロックドリルでは、攻める市場と位置づける北米において、油圧クローラドリル、ダウンザホールドリル、油圧ブレーカの大型機の PR をより一層進め、今後の販売拡大へとつなげていきます。

ユニック製品ブース

【展示製品】
ミニ・クローラクレーン 12 台、ユニッククレーン　2 台　など

ブースの様子

展示機（UM445CB）

展示機（URW376C）

展示機（ミニ・クローラクレーン、他）

【展示会の様子】
　屋外ブースに出展し、期間中はおよそ 800 名の来場者にご覧いただきました。

〈問い合わせ先〉　・ニュースリリースに関して　古河機械金属株式会社　経営企画部広報・IR 課　TEL：03-6636-9501
・展示会に関して　古河ロックドリル株式会社　営業企画部　TEL：03-6636-9522
古河ユニック株式会社　営業企画部営業企画課　TEL：03-6636-9524

古河機械金属グループ

特に注目を集めたのは、北米市場向けに新規投入する新型ミニ・クローラクレーン『UM445CB』（最大吊上能力4,030kg）です。走行時の車幅は一般的なドアを通過できる 750mm で、地下道や屋内、狭小スペースへの移動が可能なうえ、高所での重量物の吊り上げ作業に対応できることから、住宅建築や屋上での機器設置に適しており、北米における都市型建設の狭小エリアでの活躍が期待できます。また、環境負荷低減のニーズに応えるリチウムイオンバッテリーも搭載しています。会場では、新規投入製品をはじめ、多くの展示製品について評価をいただき、複数の商談が行われ将来的な受注につながる見込みです。

古河ユニックでは、今後も北米市場におけるミニ・クローラクレーンなどの販売拡大に向けて、積極的に営業活動を推進していきます。

CONEXPO-CON/AGG 2026

・開催日：2026 年 3 月 3 日～7 日
・会場　：LAS VEGAS CONVENTION -+CENTER（ラスベガス、ネバダ州、アメリカ）
・概要　：CONEXPO（コネクスポ）とはドイツの bauma(バウマ)、 フランスの INTERMAT(インターマット)と並ぶ世界三大建機展の一つで、1909 年から開催している歴史と実績がある展示会です。近年は 3 年に一度、アメリカ・ラスベガスで開催されています。主催社の発表によると、今年は約 14 万人が来場しました。

【補足資料】
■会社概要
【古河機械金属株式会社】（東京証券取引所プライム市場 証券コード 5715）
本社所在地：東京都千代田区大手町二丁目 6 番 4 号（常盤橋タワー）
代表取締役社長：中戸川 稔
事業内容：鉱山開発で培った技術を受け継ぎ、現在では機械事業 4 部門（産業機械部門、ロックドリル部門、ユニック部門、アーステクニカ部門）と素材事業 3 部門（金属部門、電子部門、化成品部門）を展開しています。
創　　業：明治 8 年（1875 年）8 月
設　　立：大正 7 年（1918 年）4 月
資 本 金：282 億 818 万円
従業員数：〈連結〉2,889 人 〈単独〉207 人［2026 年 3 月 31 日現在］
WEB サイト：https://www.furukawakk.co.jp/

【古河ロックドリル株式会社】（古河機械金属株式会社 100%子会社）
本社所在地：東京都千代田区大手町二丁目 6 番 4 号（常盤橋タワー）
代表取締役社長：山口 正己
事業内容：1914 年、国産初の手持ち式さく岩機の開発が始まりで、現在はさく岩機のトップメーカーとして、油圧ブレーカ、油圧クローラドリル、トンネルドリルジャンボなど、インフラ整備、鉱山開発に不可欠なさく岩機の製造・販売を行っています。
設　　立：1961（昭和 36）年 6 月
資 本 金：4 億円
従業員数：683 人［2026 年 3 月 31 日現在］
WEB サイト：https://www.furukawarockdrill.co.jp/

強みの「ドリフタ」をコアコンピタンスとして共通の旗印に掲げ、キャッチコピー「KEEP THE BEAT!!!」を設定し、強靭な組織を目指しています。

【古河ユニック株式会社】（古河機械金属株式会社100%子会社）
本社所在地：東京都千代田区大手町二丁目6番4号（常盤橋タワー）
代表取締役社長：菅野 悌二
事業内容：1961年に国産初の車両搭載型クレーン「ユニッククレーン」を開発。ユニッククレーンは、トラックに搭載することで「吊る・積む・運ぶ・作業する」の一連の作業を効率化した荷役機械です。現在ではユニッククレーン、ミニ・クローラクレーンなどの製造・販売を行っています。
設　　立：1946（昭和21）年4月
資 本 金：2億円
従業員数：857 人［2026 年 3 月 31 日現在］
WEBサイト：https://www.furukawaunic.co.jp/

〈問い合わせ先〉　・ニュースリリースに関して　古河機械金属株式会社　経営企画部広報・IR 課　TEL：03-6636-9501
・展示会に関して　古河ロックドリル株式会社　営業企画部　TEL：03-6636-9522
古河ユニック株式会社　営業企画部営業企画課　TEL：03-6636-9524